

社会資本総合整備計画 事後評価シート

平成28年 月 日

計画の名称	1 下水道未普及地域の普及促進							重点配分対象の該当		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)			交付対象	高浜市					
計画の目標	下水道未普及地域の普及促進に努め、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。 浸水安全度を高め、安心安全な市民生活の確保を図る。 雨水貯留浸透施設(民間への助成)を推進し、雨水流出抑制、地下水の涵養及び下水道接続に伴い不要となる浄化槽の有効利用を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	・下水道未普及地域の下水道整備率を、46.3%(H23)から54.8%(H27)に増加。 ・下水道による都市浸水対策の整備率を、67.5%(H23)から69.0%(H27)に増加。 ・雨水貯留浸透達成率を、15.9%(H23)から20.2%(H27)に増加。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)				
①	下水道整備計画面積に対して、下水道整備が完了している区域の面積割合。 下水道整備完了面積(ha) / 下水道整備計画面積(ha)			46.3%	49.5%	54.8%				
②	下水道による都市浸水対策達成率(%) (概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))			67.5%	67.8%	69.0%				
③	目標雨水貯留浸透量に対する達成率 助成した雨水貯留浸透量(m ³) / 目標雨水貯留浸透量(m ³)			15.9%	18.4%	20.2%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	(1,159百万円) 739百万円	A	(1,033百万円) 739百万円	B	C	(126百万円) 0百万円	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	(-10.9%) 0.0%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価(中間評価)の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期
目標の達成状況と指数の達成状況を確認し、事後評価書の原案を作成	H28.8:事後評価を実施
H28.8 第三者により組織される都市計画審議会協議会にて事後評価書の原案を報告	公表の方法
H28.8 事後評価の公表	高浜市HPにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A1 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
											H23	H24	H25	H26	H27				
A-1	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	汚水	新設	港第1処理分区(未普及解消下水道)	汚水管渠整備 L=3.6km	高浜市						(185) 103			上段:(計画) 下段:実施
A-2	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	汚水	新設	論地処理分区(未普及解消下水道)	汚水管渠整備 L=12.5km	高浜市						(704) 497			上段:(計画) 下段:実施
A-3	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	雨水	新設	中荒井排水区(浸水対策下水道)	雨水管渠整備 0.5ha	高浜市						(16) 13			上段:(計画) 下段:実施
A-4	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	雨水	新設	八反田第1排水区(浸水対策下水道)	雨水管渠整備 1.6ha	高浜市						(46) 40			上段:(計画) 下段:実施
A-6	下水道	一般	高浜市	直接	民間	雨水	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留浸透量 62.0m ³	高浜市						(5) 1			上段:(計画) 下段:実施
A-7	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	汚水	新設	中部第1処理分区(未普及解消下水道)	汚水管渠整備 L=0.9km	高浜市						(53) 61			上段:(計画) 下段:実施
A-8	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	汚水	新設	港第3処理分区(未普及解消下水道)	汚水管渠整備 L=0.6km	高浜市						(24) 24			上段:(計画) 下段:実施
合計															(1,033) 739				

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
C-1	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	新設	港第1処理分区の枝線整備	汚水管渠整備 L=0.6km	高浜市						(27) 0			上段:(計画) 下段:実施
C-2	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	新設	論地処理分区の枝線整備	汚水管渠整備 L=1.8km	高浜市						(91) 0			上段:(計画) 下段:実施
C-3	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	新設	中荒井排水区の枝線整備	雨水管渠整備 L=40m	高浜市						(2) 0			上段:(計画) 下段:実施
C-4	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	新設	八反田第1排水区の枝線整備	雨水管渠整備 L=60m	高浜市						(3) 0			上段:(計画) 下段:実施
C-6	下水道	一般	高浜市	直接	高浜市	新設	中部第1処理分区(未普及解消下水道)	汚水管渠整備 L=0.1km	高浜市						(3) 0			上段:(計画) 下段:実施
										合計					(126) 0			上段:(計画) 下段:実施
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C-1	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、港第1処理分区の効率的な整備拡大を図る。																	
C-2	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、論地処理分区の効率的な整備拡大を図る。																	
C-3	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、中荒井排水区の効率的な整備拡大を図る。																	
C-4	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、八反田第1排水区の効率的な整備拡大を図る。																	
C-6	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、中部第1処理分区の効率的な整備拡大を図る。																	
D 社会資本整備円滑化地積整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道計画区域の下水道整備を進めることによって、生活環境の改善と公共用水域の水質保全が図られた。
- ・下水道計画区域の下水道整備を進めることによって、浸水安全度を高めることができ、浸水減少と安心安全な市民生活の確保が図られた。
- ・雨水貯留浸透施設の助成により、雨水流出抑制、地下水の涵養及び下水道接続に伴い不要となる浄化槽の有効利用が図られた。

II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道整備区域面積の割合）	最終目標値	54.8%	目標値と実績値に差が出た要因	下水道計画区域の下水道整備を計画的に進めた結果、目標値を達成することができた。 (下水道整備完了面積：491.31ha ÷ 下水道整備計画面積：890ha = 0.552)																															
		最終実績値	55.2%																																	
	指標②（都市浸水対策達成率）	最終目標値	69.0%	目標値と実績値に差が出た要因																																
		最終実績値	69.3%																																	
	指標③（雨水貯留浸透量に対する達成率）	最終目標値	20.2%	目標値と実績値に差が出た要因		雨水貯留浸透施設設置補助金として、民間への補助を進めてきたが、浸透施設設置の実績が少なく目標値に達することができなかった。 (概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積：617.14ha ÷ 都市浸水対策を実施すべき区域の面積：890ha = 0.693)																														
		最終実績値	18.4%																																	
<p>【河川における水質（BOD75%値）の推移】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成22年度</td> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>関連事業</td> </tr> <tr> <td>稗田川水域(稗田橋)</td> <td>2.9mg/ℓ</td> <td>→</td> <td>2.6mg/ℓ</td> <td>A-2・A-7・A-8・C-2・C-6</td> </tr> </table> <p>【下水道への接続状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成22年度</td> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>関連事業</td> </tr> <tr> <td>水洗化率</td> <td>79.4%</td> <td>→</td> <td>80.8%</td> <td>A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6</td> </tr> <tr> <td>接続人口</td> <td>16,880人</td> <td>→</td> <td>21,948人</td> <td>A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6</td> </tr> </table> <p>民間事業により、下水道接続時に不要となる浄化槽の雨水貯留施設への転用助成を行なっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>最終実績値</td> <td>関連事業</td> </tr> <tr> <td>雨水貯留施設の助成</td> <td>N=7基</td> <td>A-6</td> </tr> </table>							平成22年度		平成27年度	関連事業	稗田川水域(稗田橋)	2.9mg/ℓ	→	2.6mg/ℓ	A-2・A-7・A-8・C-2・C-6		平成22年度		平成27年度	関連事業	水洗化率	79.4%	→	80.8%	A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6	接続人口	16,880人	→	21,948人	A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6	事業名	最終実績値	関連事業	雨水貯留施設の助成	N=7基	A-6
	平成22年度		平成27年度	関連事業																																
稗田川水域(稗田橋)	2.9mg/ℓ	→	2.6mg/ℓ	A-2・A-7・A-8・C-2・C-6																																
	平成22年度		平成27年度	関連事業																																
水洗化率	79.4%	→	80.8%	A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6																																
接続人口	16,880人	→	21,948人	A-1・A-2・A-7・A-8・C-1・C-2・C-6																																
事業名	最終実績値	関連事業																																		
雨水貯留施設の助成	N=7基	A-6																																		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・汚水の未普及対策として、安全、安心、公衆衛生の向上を目的とした下水道整備を推進し、市民の生活環境の向上を図ります。
- ・都市浸水対策を実施すべき区域に対し、浸水安全度を高めることを目的とした下水道整備を推進し、安心、安全な市民生活の確保を図ります。

(参考図面) 下水道の未普及地域の普及促進

